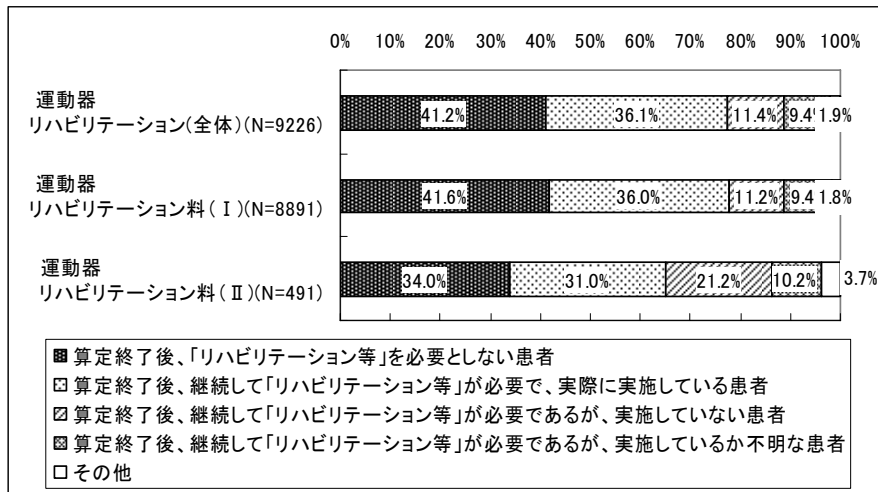
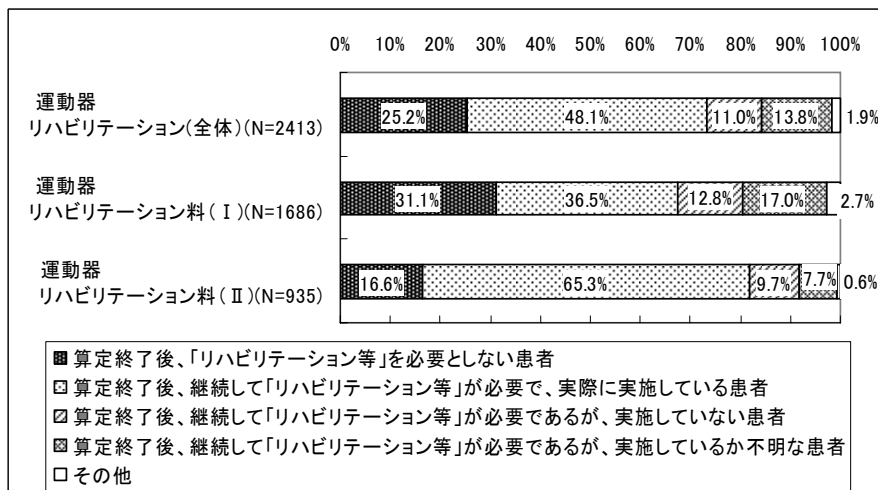


図表 6.1-40 11月1ヶ月間のうちにリハビリテーション料の算定を終了した患者の継続的なリハビリテーションの必要性（運動器リハビリテーション(病院)）



診療所における、運動器リハビリテーションは、「算定終了後、継続して「リハビリテーション等」が必要で、実際に実施している患者」(48.1%)が最も多く、次いで「算定終了後、「リハビリテーション等」を必要としない患者」(25.2%)となっている。内訳でみると、運動器リハビリテーション料（I）については、「算定終了後、継続して「リハビリテーション等」が必要で、実際に実施している患者」が36.5%と最も多く、運動器リハビリテーション料（II）についても、「算定終了後、継続して「リハビリテーション等」が必要で、実際に実施している患者」が65.3%と最も多くなっている。

図表 6.1-41 11月1ヶ月間のうちにリハビリテーション料の算定を終了した患者の継続的なリハビリテーションの必要性（運動器リハビリテーション(診療所)）



・ 呼吸器リハビリテーション

病院における、呼吸器リハビリテーションは、「算定終了後、「リハビリテーション等」を必要としない患者」(45.9%)が最も多く、次いで「算定終了後、継続して「リハビリテー